2025.6月末日までの業務完了が対象

期間限定

「脆弱性診断サービス」新年度キャンペーン

新年度に向けてセキュリティ対策の見直しに!!

新年度は、システムのリリースや、人の入れ替わりによって、不慣れな作業に追われることが多々あるかと思います。セキュリティ対策が後回しになる前に、サイバー保険が自動付帯される、当社脆弱性診断サービスによる、貴社システムの現状調査を是非ご検討ください。

<キャンペーン概要>

申込期間：**2025年4月18日から5月16日まで**

対象サービス：**脆弱性診断サービス（Web/NW/API）**

特典付き

- ご発注から1年間、上限1,000万円のサイバー保険が自動付帯
- 通常1回まで無償の再診断が2回まで無償提供
- 通常3か月間の再診断及びQA受付期間を6か月まで延長

※CPE（ツール診断のみ）、スマホアプリ診断、クラウド設定診断、ペネトレーションテストは対象外になります。
※2回目の再診断の対象は1回目の再診断で修正されていなかった箇所とさせていただきます。
※2025年6月末日までに業務完了/ご検収をいただける診断限定です。

INFORMATION DEVELOPMENT

BBSec

診断の流れ

診断範囲確定後、ツール診断と手動診断を行います。ツール診断で発生する誤検知や過検知をエンジニアによる手動診断でフォローし、網羅性と精度の両極から実態の把握を可能にします。さらに、検出された脆弱性、リスク、対策方法等をまとめた報告書をもとに、エンジニアによる報告会を実施いたします。診断後、脆弱性への対応状況を確認する再診断も提供しています。

診断前準備・調査
- 予備調査
- 事前調査（クローリング）
- 対象システムの機能分析

診断実施*1
- 脆弱性診断
- 複数ツールによるスキャン
- ホワイトハッカーによる擬似攻撃
- ペネトレーションテスト*2
- エビデンス取得/リスク評価

報告書作成～報告会
- 報告書作成
- BCPに対するリスク評価
- トレンドにもとづく脅威評価
- 報告会

診断保守
- 結果報告後の対応
- 再診断
- デイリー自動脆弱性診断等*3

*1：重大な問題点を検出した場合は「速報」として随時ご報告いたします。*2：ご依頼がある場合、検出した脆弱性を用いてシステムへの侵入を試みます。
*3：別メニューとなります

サービス例

約10リクエスト

例）電機メーカーが海外販売店**コーポレートサイト**リリース前に脆弱性診断を実施

約50リクエスト

例）小売店が**ECサイト**リニューアルに伴う安全性確認のため脆弱性診断を実施

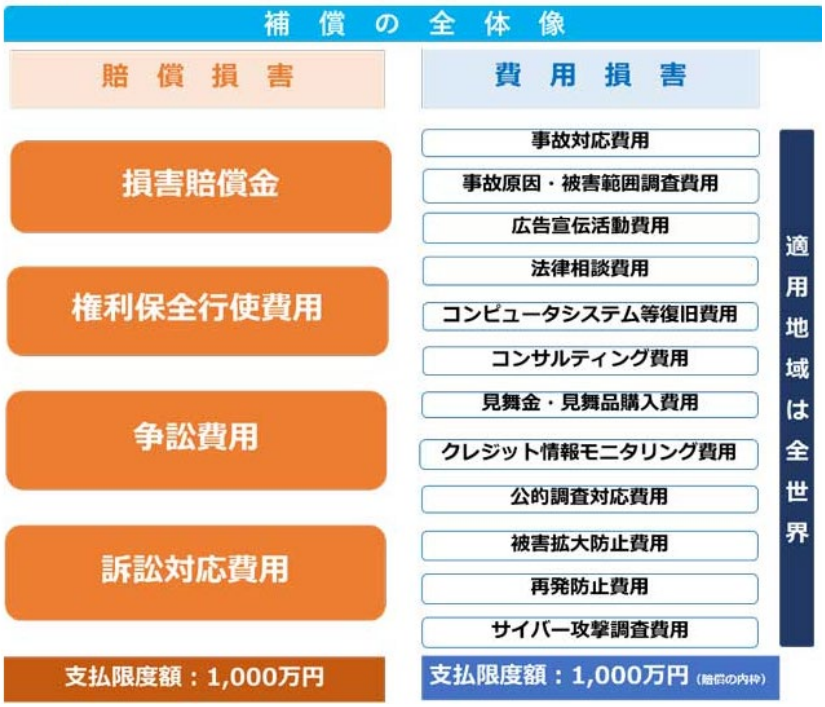
約100リクエスト

例）金融機関が**ネットバンキングシステム**のセキュリティ維持のため脆弱性診断を実施

自動付帯されるサイバー保険

BBSecによる脆弱性診断の契約日から1年間、情報漏えいやサイバー攻撃に起因する賠償損害や、事故発生時に対策を講じた場合の費用損害について、実際の初動対応には平均して1,000万円程度必要であるという当社データをもとに、最大1,000万円まで補償されるプランを付帯しております。

<補償概要>



※記載の会社名及びサービス名は弊社の商標または登録商標です。

株式会社インフォメーション・ディベロプメント
〒102-0076　東京都千代田区五番町12番地1 番町会館
サイバーセキュリティ事業本部
03-3262-9171　marketing@idnet.co.jp